

2019 年度の取組み

かながわボランティア活動推進基金 2 1 協働事業負担金対象事業

事業名	「食」と「地域」をつなぎ神奈川から貧困をなくすための K-Model 構築事業
団体名	特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川
県協働部署名	福祉子どもみらい局子どもみらい部子ども家庭課 福祉子どもみらい局子どもみらい部子ども支援課 福祉子どもみらい局福祉部生活援護課 県土整備局建築住宅部住宅計画課 環境農政局環境部資源循環推進課 くらし安全防災局くらし安全部消費生活課
事業期間	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 2 年 3 月 31 日

1 個別事業ごとの進捗状況

事業 1	事業 1 多機関連携による K-Model 推進事業
(1) 目標	生活困窮者等支援と食品ロスを改善するため「食」と「地域」をつなげるネットワークをつくり、持続可能な食品循環の仕組みを構築する。
(2) 実績	<p>◆K-Model ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月4日ビーバーリンクの運営資金の集め方や管理体制の相談のため、城南信金の顧問へ相談。担当者を紹介いただき、今後、どのような連携が取れるか検討していただくこととなった。 ・6月4日、城南信金と品川区主催、子ども食堂シンポジウムに参加。ふるさと納税を活用した資金調達の取組み、子ども食堂の支援体制についてうかがった。 ・6月6日、かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク総会・学習会参加。 ・7月31日、食品メーカー野口食品を訪問。横浜信用金庫も同席され、鶴見地区として、食を介した支援の拠点づくりへの一歩となる。野口食品と9月1日付で、食品の寄贈品に関する合意書を締結した。ビーバーリンク@鶴見への食品提供に協力いただく。 ・8月1日、駒岡丘の上こども食堂視察。食品活用の提案と鶴見地区として、ネットワークづくりの具体化を検討する。 ・8月19日、横浜信用金庫からの相談で、困窮者支援の住宅提供を行っている、加瀬倉庫（新横浜）を訪問。困窮者支援の食の支援の依頼があり、9月11日横須賀追浜の支援活動を視察。 ・9月6日、横浜信用金庫へ、ビーバーリンクの運営資金の集め方や管理体制について相談。 ・9月3日、海老名のオイシックスに訪問、食品ロスの活用について相談があり、地元での活用を希望され、当法人立ち上げ支援の子ども食堂「社家子どもキッチン」に打診。今後どのように活用できるか検討していく。 ・11月8日「ビーバーリンクシンポジウム」を主催。行政、中間支援組織、子ども食堂運営団体など総勢 27 名の参加。意見交換が有意義だったと好評いただいた。 ・11月11日ニュースキンジャパンより相談を受け、貨物軽自動車運搬業（合同会社 RK0）を紹介された。 ・1月19日、日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)と話。当法人を紹介し、今後の協力を打診した。 ・1月20日、湘南オフィスサービス（湘南信金系列）と話。当法人を紹介し、防災備品とフードロスとの関係に非常に興味をもっていた。 ・1月28日、一蘭（ラーメン屋）から食品支援の希望があり、打合せ。 <p>【協働部署との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活課の紹介により、消費者月間の取組みに参加。かながわ県民サ

ポートセンターの1階ロビーにて食品ロス削減の取り組みとフードドライブを実施。5月7日～9・15・16日の5日間でK-Modelのチラシを1360枚配付した。フードドライブは47点・雑貨3点提供があった。

- ・6月12日、瀬谷区内施設関係者ネットワーク会議にて、「子ども食堂・子どもの居場所」をテーマに講演。参加者17名。
- ・6月28日、子ども家庭課の児童扶養手当事務担当者会議に出席。町村担当者約20名に対し事業の取組みを説明。
- ・7月17日、神奈川県空き家対策行政実務者会議にて、約40名に対し事業の取組み説明を実施。終了後、茅ヶ崎市担当者より、茅ヶ崎市の空き家状況についてお話いただいた。
- ・茅ヶ崎市の空き家活用等マッチング制度に登録し、茅ヶ崎市都市政策課立ち合いのもと物件確認を行った。賃貸借契約の検討に当たり地域状況や制度に関する情報提供をいただき、空き家活用を通じ、茅ヶ崎市との連携がすすんだ。
- ・7月23日、生活援護課より、新規パンフレットを預かり、各イベント等で配布。
- ・8月22日、神奈川県主催・平塚市共催の「子ども支援フォーラム」が平塚市にて開催され、交流会ブースに出展。5人からの相談があった。
- ・10月4日開催の母子・父子自立支援員研究会にて、子ども家庭課との協働事業について説明を実施。
- ・10月18日～10月30日まで、県消費生活課主催の「消費生活展」に出店。6日間のフードドライブを実施。県職員自身もフードドライブに参加し、参加者14名、提供食品数48点。
- ・10月31日「食品ロスエシカルトーク」（横浜駅）県消費生活課からの依頼で紙芝居と講演を実施。
- ・県子ども支援課より、「神奈川県子どもの貧困対策推進計画（改定素案）」について要請があり、当法人としての意見書を提出。
- ・11月15日・20日、県子ども支援課より子どもの居場所セミナーの案内、広報協力の依頼があった。
- ・2月6日、県住宅計画課主催の空き家対策行政実務者会議にて、茅ヶ崎市空き家活用等マッチング制度を利用した居場所づくりの事例報告を実施した。
- ・2月6日、県SDGs推進課主催のアクションミーティング（企業交流会）に参加。19団体350名が出席した。当法人も他企業他団体と積極的に交流をはかった。
- ・2月15日、県消費生活課の学習会に出席し、講演した。
- ・資源循環推進課との打ち合わせにより、「農水省の令和2年度農山漁村6次産業化対策事業のうち持続可能な循環資源活用総合対策事業に係る公募」の「フードバンク活動マッチング支援事業」に応募し、採択された。

ビーバーリンクの食品の流れをモデルに、食品の流通・マッチングをシステム化し、ビーバーリンクの取組みの安定運営を目指す。

【広報活動】

- ・5月8日、消費生活課より、19年度「消費者教育担い手連携・協働事業」で受講された担い手の実践の場づくりの相談を頂いた。
- ・6月12日瀬谷区平成31年度 第1回瀬谷区内施設関係者ネットワーク会議にて、子ども食堂について、セカンドリーグ神奈川の取組みを講演、18名の参加があった。
- ・7月2日、パルシステム神奈川ゆめコープ主催2030年ビジョンキックオフ集会にて、当法人の取組み報告を実施。K-Model・ビーバーリンクについて約130名に広報。
- ・7月13日、青空マーケット in あさおにて、環境の取組み、K-Modelの広報を実施。233名の来場。
- ・8月23日、子ども支援課より、子どもの居場所セミナーの案内と、広報協力の依頼があり、当法人にて広報を実施。

	<ul style="list-style-type: none"> ・9月29日、基金の「かながわボランティアフェスタ」に実行委員長として参加。かみしばいやもっちいの環境紙芝居やフードドライブを実施したほか、環境宣言を実施し54名参加。
(3)実績・成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・K-Modelの具体化が課題であったが、各支援団体の取組みや主体性はそのままに、食や場所、情報等で連携する「ビーバーリンク」が立ち上げたことにより、フードバンクから提供される食品のロスや配送コストが減った。各団体の負担が減り、重層的な支援が可能となった。今後は、持続可能な取組みとなるよう、運営資金面での整理を行っていく必要がある。継続して実施する。 ・K-Model推進において、ビーバーリンクがモデル事業として確立したこと、中間支援団体としての法人の役割が明確になったことで、取組み趣旨を理解し、食品の提供やビーバーリンクに関わりたいと思う企業が増えた。 ・協働部署との連携も、3年目となり相互理解が深まり、各課が持つ課題に対し、対応できるようになった。基金終了後の事業継続に向けての話し合いの機会を持った。また消費生活課が協働部署に加わったことで、食品ロス削減の取組みをさらに県民に知らせる機会が増えた。

事業2	事業2 地域フードバンク等支援事業
(1)目標	企業が安心して地域フードバンクや子ども食堂に食品を提供できるように周知を図るとともに、地域フードバンク等の運営に必要な情報提供や中間支援を行う。
(2)実績	<p>【食品コーディネーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードバンク横浜より提供のアルファ米2,500食、惣菜缶詰480缶を、フードバンクひらつか、フードバンクあつぎへ提供。またポップコーンも130袋は、茅ヶ崎の子ども食堂「さいとうさんち」へ提供。 ・5月31日、都内食品メーカーより、冷凍串カツの252キロ提供の相談があり、フードバンクひらつかへ引き渡しのコーディネーターを実施。 ・6月11日、横浜岡田屋より相談で、防災備蓄バッグ（アルファ米、缶入りパン、非常用トイレ、トイレトペーパーの7点セット）の引き取りについて、現地視察として、保土ヶ谷、秦野の高齢者施設に伺い、9月5日、ビーバーリンク桜木町のさくらリビングに246セット納品。254セット、他アルファ米や缶入りパンは、法人で一時保管、必要に応じフードバンクや災害支援に使用予定。 ・7月26日、チルド牛肉の提供の相談があり、法人会員でもあり活動協力いただいている古民家カフェ・ボンラヴィにて引き取りと小分け、バキュームパックを実施。2か所の子ども食堂へ分配。 ・8月27日、都内食品メーカーより、冷凍牛肉27キロの提供の連絡があり、ボンラヴィにて引き受けと、小分けを依頼。子ども食堂へ分配予定。 ・9月16日、パルシステム神奈川ゆめコープと野菜のセットセンター、法人3者で食品提供の合意書を締結。9月19日、パルシステム神奈川ゆめコープ鶴見センターから青果の提供がスタートした。ビーバーリンク@鶴見として、月1回より実施。 ・10月17日、ビーバーリンク鶴見で野口食品（冷凍）とパルシステム神奈川ゆめコープ（青果）の提供を受け、食支援ネットかながわを通じて提供を行った。 ・こども未来ファンドより相談あり、缶のパンの引取り実施。12月4日缶のパン引取り対応。24個入×169ケース（4056個） ・海老名のオイシックスより、海老名社家こどもキッチンに食材提供。 ・12月、1月に食支援ネットの相談から、戸塚の生活困窮者共同住宅で「0円ショップ」を開催し、計50名の方が来場。防災備蓄品で提供された水や紙類が大変喜ばれた。

- ・11月25日、県災害対策課より、アルファ米2,242食の提供を受けた。
- ・12月4日、横浜岡田屋より、サンシティ神奈川（秦野）からの災害備蓄品の引き取りの相談を受け、防災バック400個を受け取った。
- ・2月13日、新たなフードバンクとして小田原市松田町にてNPO 報徳食品支援センターが開設し開所式に参加提供団体を紹介した。
- ・3月11日、県防災対策課より、防災備蓄品の引取り対応。クッキー490食、クラッカー2,100食を当法人の関係団体にて活用するコーディネートを行った。

【ビーバーリンク立上げ支援】

①ビーバーリンク@武蔵新城

- ・5月よりビーバーリンク@武蔵新城が開始、食品提供の流れが整った。

②ビーバーリンク@桜木町

- ・7月よりビーバーリンク@桜木町がスタートし、7月12日から食品提供となった。

③ビーバーリンク@鶴見

- ・8月1日、新たなビーバーリンクとして、駒岡地区センター、鶴見ケアプラザで説明会を開催予定。子ども食堂、障がい者学習支援団体、若者支援団体の3団体でスタートし、いずれひとり親支援活動が開始される予定。

- ・ビーバーリンク@鶴見の運営協力として、株式会社野口食品、横浜信用金庫末吉支店が関わる予定。

- ・ビーバーリンク@鶴見は、受取団体として、駒岡丘の上食堂、ななむぎ子ども食堂、学習まなひろ、子ども食堂すくすく、ごはんやMOGU、サードプレイスつみれカフェ、つるみ元気食堂など、輪が広がった。

④ビーバーリンク@茅ヶ崎

- ・若者カフェ、若者ギター教室、骨董市など実施。南湖と連携を図りながら展開していく。

⑤ビーバーリンク@茅ヶ崎南湖（準備中）

- ・2月26日、茅ヶ崎市同席のもと、茅ヶ崎市空き家活用等マッチング制度を活用した空き家物件の賃貸借契約について確認、3月1日付で賃貸借契約を締結した。

- ・空き家の所有者、茅ヶ崎市、支援活動の実践者、セカンドリーグの4者で実活用について共有できた。今後、ビーバーリンクの拠点の一つとして活動を展開する。

⑤ビーバーリンク@港北（準備中）

- ・びーのびーのより、サテライト綱島にて、ビーバーリンク@港北について相談があり10月に始動した。同団体の運営協力により、新横浜のがんばるママ交流会も再開する予定。

⑥ビーバーリンク@金沢（準備中）

- ・9月13日、金沢子ども食堂すくすくより、子ども食堂、ひとり親支援を実施していて、障がい者支援の居場所づくりでの相談を頂き、ビーバーリンクとして検討していくことになった。現在フードバンクかながわと、食支援ネットワークが協力している。

【法人自主企画（がんばるママ・若者カフェ）】

***がんばるママ応援企画（武蔵新城会場）。**

- ・第4日曜日。5月2組、6月3組、7月3組、9月5名、10月6名、11月新規1名含め5組参加、1月6組（8月は開催なし、食品支援1件対応。12月開催なし食品支援5件）。1月7組、2月新規2組含め8組参加。3月はコロナウイルス感染症予防のため、開催を中止し、希望者に食品を宅急便で2回届けた。

***若者カフェ**

- ・第3日曜日。年間で12回開催し延べ参加者105名。ギター教室やお料

	理教室など、参加者が自由にすごし交流できる機会を提供した。
(3)実績・成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーバーリンクのネットワークが具体化したことで、フードバンクや子ども食堂、支援団体に対する当法人の支援方法が具体化し、さらにネットワークが広がる結果となった。 ・食品のコーディネート業務が定着し、物流と活用の流れができた。活動現場を見ながらコーディネートすることで、より具体的な繋ぎや提案ができた。